

囲碁入門講座通信 令和3年 第38号



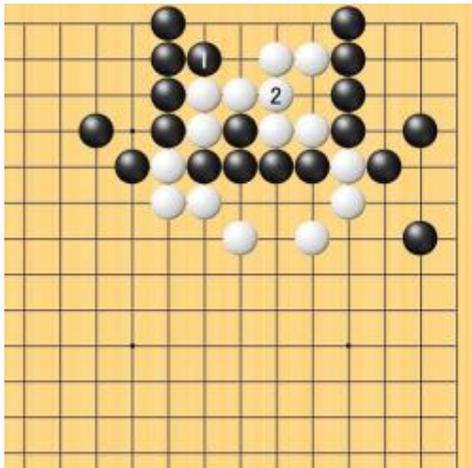
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいたのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。
(棋士名は碁に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号は入門者用にやさしい攻め合い問題をご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)
ダメの数では負けでも、手筋の力で石を取る 単純にダメを詰めていくのでは、自分の石が先に取られてしまうような場面で、手筋の力を借りて攻め合いに勝つ手順を考えていただきます。①相手の手数を縮める手筋と②自分の手数を伸ばす手筋の力を借りて・・・

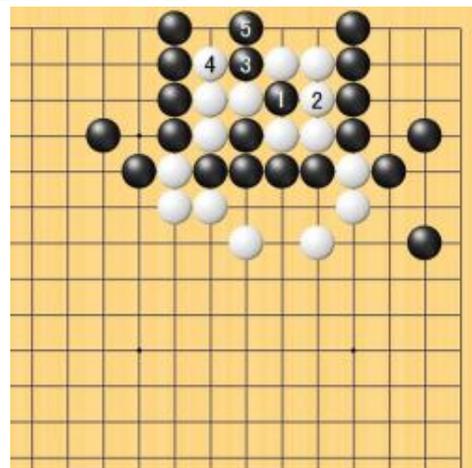
前号(第37号)の続きです **問題4 正解と解説**

問題4 失敗図



黒1には白2。敵の急所は我が急所で、白のダメは4つに増えています。黒が2以外のどこに打っても、白は2に打って攻め合い勝ちです。。

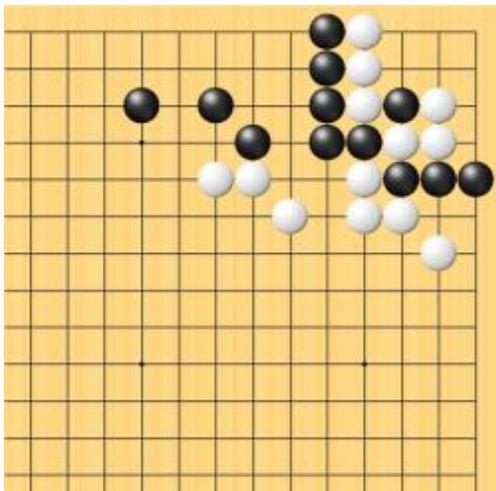
問題4 正解図



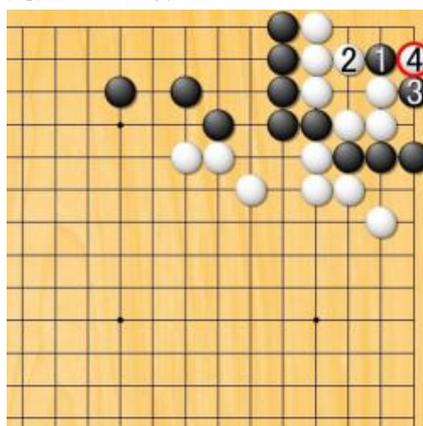
黒1が手数を縮める唯一の手です。続いて3が知らないと打てない手筋です。白4には黒5でこの2子は取られません。この後白は1の地点につながなければならず、ダメの数は3対3で、先着する黒の勝ちです。

攻め合い問題5 黒番

隅の白を取り、黒3子を助けてください。



問題5 失敗図



黒1がこの形の急所です。しかし、白2に黒3とハネて渡ろうとしたのが急ぎ過ぎ。白4のホウリコミが手筋で、無条件では取れなくなります。(以下次号)正解と解説の続きは次号(第39号)でご案内します。